

令和6年度指定管理者モニタリング評価調書

施設基本情報

施設名称	北広島市住民プール	所管部課	教育部社会教育課
指定管理者名	北島工業株式会社		
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日		
施設設置目的	市民のスポーツ及びレクリエーションの用に供するため		
施設概要	市内6ヶ所：東部住民プール・西部プール・大曲住民プール・白樺プール・西の里住民プール ※緑葉公園プールは休館		
指定管理者の業務 (利用料金制の適用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理に関する業務</li> <li>・施設の使用許可に関する業務</li> <li>・施設の使用料金徴収に関する業務</li> </ul> ※利用料金制を適用しない		

1 施設利用状況

利用区分等	前年度実績	令和6年度目標 (事業計画書)	令和6年度 利用実績	評 価
一般	1,082人	—	921人	設備修繕によるオープン遅れやプール事故を受けた学校授業の中止により、利用者については大幅減となった。
高校生以下	22,872人	—	13,509人	
幼児	420人	—	343人	
65歳以上	276人	—	251人	
団体専用	382人	—	462人	
減免利用	78人	—	140人	
合 計	25,110人	—	15,626人	
(特記事項) 設備修繕のため、2プールで開放開始日が遅れることとなった(西の里住民プール開始8/13～、大曲住民プール開始8/20～)。				

2 収支の状況

区 分	目標(協定・仕様書・事業計画書)	実施状況	評 価
事業収支の執行状況	収支決算額の表のとおり	収支決算額の表のとおり	概ね適正である。
適正な経理	指定管理者が行う他の事業と区分して経理をする。	経理規程を定め、独立した帳簿、預金口座により、経理処理を行い予算執行に努めた。	他事業との区分経理が適正に行われている。
経費節減の取り組み	無駄のない施設運営に努め、経費節減を目標とした対応を実施する。	軽微な修繕を職員で行い、また転用可能な設備を活用することで経費削減を心がけた。	経費節減に向けて適正に対応を行っている。

収支決算額 (単位：円)

区 分		前年度 決算	令和6年度 事業計画書	令和6年度 決算
収入 A	指定管理料	29,293,000	33,803,000	33,733,000
	その他	145,009		311
	合計	29,438,009	33,803,000	33,733,311
支出 B	人件費	13,725,755	14,330,000	16,645,914
	管理費	15,395,738	19,173,000	16,865,195
	諸経費	127,697	300,000	222,202
	合計	29,249,190	33,803,000	33,733,311
A - B		188,819	0	0
(特記事項)				

### 3 事業実施状況

区分	目標(協定・仕様書・事業計画書)	実施状況	評価
市指定事業	—	—	当年度は、講師不足により中止となったため、評価しない。
自主事業	幼児水泳教室	本年は講師不足のため開催見送り	

### 4 施設の維持管理

区分	目標(協定・仕様書・事業計画書)	実施状況	評価
機器整備点検	ろ過機、温水発生機、温風暖房機等を良好な機能状態に保持	整備点検（動作確認）を実施。一部、修繕を実施した。	清掃や機器点検等が実施されており、維持管理は適正である。
上屋シート掛・収納業務	掛・収納作業の安全確保、シートの緩み損傷確認、整備保管	期間中に一部破損があり、修繕処置を実施した。	
物品・試薬在庫管理	仕様書に基き、備品及び薬剤の確認	在庫管理を実施し、特に水質維持に必要な薬剤を定期的に注入した。	
プール槽への注水・排水	濁水が生じないように急激な注水は行わない	一般開放終了後、水位を確認し注水を実施した。	
浄化装置管理	浄化装置の洗浄、水質管理基準の厳守	ろ過機の洗浄や集毛器の清掃をプール授業の期間に念入りに実施した。	
清掃業務	プール槽やプールサイドの清掃、管理棟・施設敷地内の清掃、防油堤の清掃	日常的な清掃を行い、常に清潔で快適な状態に努めた。	

### 5 施設の運営

区分	目標(協定・仕様書・事業計画書)	実施状況	評価
利用者の安全確保	施設の安全点検・衛生管理、監視員の適正配置	「プールの安全・衛生標準指針」に基づき実施した。	日ごろから安全確保、敷地内の美化に努めるとともに、利用者サービスの向上に向けた取り組みを行い、評価できる。
利用者サービスの向上	要望や意見等の把握のために「アンケート箱」を設置	定期的に開封し内容の検討を行った。また、施設敷地内の美化（草刈、清掃）に努めた。	
受付管理体制の確立	各プールに受付（1名）を配置	各プールに受付1名を配置し、丁寧な窓口対応と笑顔の接遇を心掛けた。	
利用の公平性の確保	専用使用許可等で極端な長期・独占的な使用とならないよう管理する	適切、公平な運用に努めた。	
緊急時の対応	普通救命講習の受講（全員）、緊急時のマニュアル作成	普通救命講習を全員が受講、万が一を想定した訓練を実施した。	

## 6 指定管理者の自己評価

区 分		自己評価
1	施設利用状況	令和5年度に続いて一般開放を実施した。しかし、設備修繕の影響により、2つのプールの開放開始日が遅れ、また、プール事故の影響により学校授業が2学期から中止され、利用者は前年度比37%減少した。
2	収支の状況	基本協定書に基づき、経理の適正執行に努めた。今年も光熱水費の高騰の対策として節約による支出減少に努めた。
3	事業実施状況	自主事業は、講師になる人の人手不足により実施を見送った。幅広い利用者層への働きかけとして、水泳サークルの年少参加者向けの水泳記録会の開催やハンディキャップ水泳大会の開催に協賛した。
4	施設の維持管理	施設の維持管理の推進として巡回点検を実施した。機器の経年劣化対策のため、機器の保守点検を実施した。
5	施設の運営	施設の運営については、指定管理業務仕様書に基づき適切に実施した。その他、設備修繕により、西の里住民プールについては開放開始日を8月13日に延期し、大曲住民プールについては開放開始日を8月20日に延期した。
6	利用者満足度向上に向けた取り組み	管理人は、早めに出勤し、室温・水温・水質の適正維持に取り組むことにより利用しやすいプールになるよう努めた。

## 7 総合評価

**【当該年度の評価】**  
 利用状況等については、設備修繕による開放開始時期の遅れやプール事故による学校授業の中止の影響で、前年度に比べて減少となったが、施設の管理・運営の面においては、プール事故を受けた監視員の増員に急遽対応いただく等、非常に評価できる。

**【本指定期間当初から当該年度までの評価】**  
 本指定期間の4年目となる。施設修繕により開放時期が遅れたり、プール事故を受けて2学期は小学生の利用を制限する等プールの利用者数は前年度に比べて減少となったが、コロナ禍で開放を中止又は一部制限していた時期に比べると、利用状況は回復してきている。また、施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきているが、日々の点検を行い、自分たちで修繕できるものについては早いうちから対処していることから、管理運営は良好であると認められる。